

平成25年度

目黒区学力調査と授業改善プラン

- I 「目黒区学力調査」の概要
- II 平成24年度「目黒区学力調査と授業改善プラン」の検証
- III 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン
 - ・本校の授業改善に向けた方策（学校全体）
 - ・第1学年～第3学年

平成25年7月
目黒区立第八中学校

I 「目黒区学力調査」の概要

1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。（原則として、特別支援学級に在籍する児童・生徒は対象としない）

2 調査の内容

(1) 調査の対象学年及び対象生徒数（本校）

	1 年	2 年	3 年
対象数	98人	73人	80人
実施数	98人	71人	78人
受検率	100%	97%	98%

(2) 調査内容と実施教科

① 学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）

② 生徒の学習に関する意識

1年 意識調査、国語、数学、社会、理科

2年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

3年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

(3) 実施日

平成25年4月16日（火）

Ⅱ 平成24年度「目黒区学力調査と授業改善プラン」の検証

(1) 成果

基礎・基本を重視し指導内容をできるだけ精選して指導した結果、基礎・基本については概ね良好な成果が得られた。中でも英語科については、2・3学年とも全ての項目において目標値を上回っていた。これは少人数授業、ティームティーチングできめ細かな指導に心がけ、コミュニケーション能力の育成、問題演習や繰り返しの学習を徹底して行った成果と考えられる。また、国語科と英語科においても少人数授業を行い、きめ細かな指導が効果的であった。社会、理科に関しては、課題解決的な学習や実験などに積極的に取り組んできたが、活用する力にやや課題がある。

放課後学習教室、定期考査前の土曜学習教室なども定着し、生徒が前向きに学習に取り組む姿勢もうかがえるようになった

(2) 課題

授業規律の確立が大きな課題である。学年によって差があるが、落ち着いて授業に取り組めない場面が見受けられる。全校体制でチャイム着席、忘れ物のチェックなどに取り組む必要がある。同時に生徒たちが「楽しく分かり、魅力ある授業」を全校で組織的に行っていくことが課題である。

どの教科も、思考力・判断力・表現力等、活用する力に課題がある。習得した知識を活用し、探求する力をつけていく必要がある。一方的に教師が話し教えるのではなく、考える時間を確保したり、お互いに交流しあったりする時間を確保するなど、言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育成する視点での授業改善が必要である。

また、学力の二極化もうかがえる。発展的な学習に進んで取り組む生徒もいれば、基礎・基本が定着しておらず、学習意欲を失っている生徒も見受けられる。放課後学習教室などを活用し個別に指導することも必要であるが、基本的な生活習慣を確立させる、学級活動や行事などで意欲を高めるなど家庭との連携や全校体制での支援が必要である。

Ⅲ 目黒区学力調査等に基づく授業改善プラン

本校の授業改善に向けた方策

- ① 授業規律の確立や朝の読書、校内の環境美化、言語環境の整備等に全校体制で取り組み、落ち着いた雰囲気での学習ができる環境づくりに努める。基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の確立について、地域や家庭にも協力を依頼する。
- ② 全学年国語科において少人数授業、2・3年数学科・英語科において少人数授業、1年数学科・英語科においてティームティーチングを行い、きめ細かな指導に努める。繰り返し学習や調べ学習などを計画的に実施し、基礎・基本の定着を徹底する。
- ③ 授業の中に、意識的に思考する時間を設ける。教師が一方的に授業を進めるのではなく、考える時間を必ず確保し、習得した知識を活用する授業に取り組む。その際、個別指導、グループ別指導、習熟の程度に応じた指導、興味・関心に応じた課題学習など多様な指導ができるよう工夫する。
- ④ 全ての教育活動において言語活動を充実させる。行事などの特別活動や総合的な学習の時間との関連を図り、さまざまな場面で思考力・判断力・表現力等の育成を図る。体験的な学習や問題解決的な学習を計画的に設定し、生徒が興味・関心をもって、自主的・自発的に学習に取り組む姿勢を育成する。
- ⑤ 各教科で「振り返りシート」を工夫し、一人一人の生徒の学習状況を把握し、つまづきの早期発見に努める。「振り返りシート」を活用し、生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を全校で組織的にを行い、学習意欲の向上に努める。
- ⑥ 校内研修等を通して、適正な評価・評定について研修を深める。生徒のよい点や進歩の状況を積極的に評価し、指導の工夫・改善につなげ、学習意欲の向上に生かす。
- ⑦ 教師と生徒の信頼関係や生徒同士の良好な人間関係を育てる。そのために道徳授業や学級経営、生徒指導等の充実を図る。日常生活のあらゆる場面で生徒とふれあう機会を重視し、生徒理解に努める。
- ⑧ 小学校との連携を深め、連続したカリキュラムで効率よく学習が深められるよう工夫する。

第八中学校 第1学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策
国語	○話の内容を正確に聞き取ること。 ○既習漢字の書き取り。	○少人数で授業を行い、話し手がどのような内容を話しているかを正確に聞き取ることができるような態度の育成を図る。 ○既習の漢字については、繰り返し練習する習慣を身につけるために、教科書以外の教材を利用し、基礎・基本的な漢字の読み書きの定着を図る。また、単元修了ごとに小テストを実施し、定着を図る。
社会	○日本の雨温図に対する理解 ○日本に吹く季節風に関する理解。	○雨温図の学習において、雨温図から各地域の気候の違いや特色をしっかりと読み取ることができるように課題を作成し、資料読み取りの力を育成する。 ○風と気候の関係について理解し、日本各地域の気候の特色を風との関係から理解することができるよう指導する。また、風の影響を雨温図からも読み取ることができるよう指導する。 ○小テストを行って理解の度合いや学習の定着率をたしかめながら学習をすすめる。
数学	○比較的によく理解しているので、この状態を保つこと。 ○少数ではあるが、基礎基本の習得に難がある生徒の学習支援。	○一斉授業の利点を生かし、数学の学習は、油断せずに常に真剣に取り組む必要があるという意識を学級単位で保ち続けさせ、習得しにくい内容も多く指導をしていく。また、範囲限定の試験と範囲なしの試験の両方を行うことにより、数学全体の学習内容を定着させていく。 ○苦手な生徒は机間指導の際にアドバイスを多く与え、理解の手助けを確実にする。また補習教室などに多く参加をさせるようにする。
理科	○容器内のろうそくを長く燃え続けさせる方法がわかること ○植物が葉から水蒸気を出すはたらきを「蒸散」ということがわかること ○水溶液の性質から、その水溶液がなんであるかを特定できるようになること。	○学習している内容や現象を、常に日常生活と結びつけて指導することを一層心がける。 ○実験を多くし、知識だけでなく、実際の体験から学ばせる指導を徹底する。 - また、ビデを教材を利用するなど興味関心をもって学んでいく機会を多くする。
英語	○日常的な挨拶や基本的な単語を言うことはできるので、それらを読み、書くことができるように、段階的に習得させる。 ○文法力を身につけさせる。 ○英語への興味・関心をたかめる。 ○間違いを恐れず、英語を使えるようにする。	○Good Work Card を利用して、暗唱及び単語や文章を書く練習を繰り返し行う。定期的にスペリングコンテストやディクテーションテストを実施して、読む力、書く力を伸ばしていく。 - 易しい英文で自己表現ができるよう、スピーチを定期的に取り入れていく。 ○ペアワーク、グループワークにより、生徒同士で英語力を高め合う雰囲気を作っていく。 - A L T と協力して英語の構造を理解させつつ使えるようにする手立てを工夫していく。 - 授業への意欲を喚起し、授業に取り組む基本姿勢を養う。

第八中学校 第2学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策
国語	○3段構成で作文を書くこと。 ○文法面で単語についての知識に関する問題。 ○話し手の話し方の工夫を聞きとること。	○「書く」場面を増やし、互いの文章を読み合うことによって、「書く」ことへの抵抗をなくし「書く」事の面白さを味あわせる機会を多く持つ。 ○文法の練習問題を定期的に解かせることにより、文法に慣れさせるようにする。 ○人の話を、メモを執りながら「聞く」習慣をつけさせる。
社会	○世界の諸地域の学習で、ヨーロッパや北アメリカに関する知識、理解。 ○資料を使って古代の社会について考えること。 ○平安時代の政治に対する知識、理解。	○世界の諸地域の学習を総復習、毎時間小テストおこなう。終了したら、それをまとめてテストをして学習内容の定着をはかる。生徒が個に応じて、努力できるよう課題を設定する。 ○歴史的分野の学習に関しても学習内容をきちんと定着できるように小テストをおこなう。また授業中に資料を読み取る機会を設定し、資料を読み取る力を育成する。
数学	○1次方程式を解くこと。 ○比例のグラフを書くこと ○問題文の条件にあうグラフを選ぶこと ○接する円の作図 ○ヒストグラムの代表値を理解すること ○有効数字を理解すること	○計算練習はくり返し行う。計算だけのテストなどを行い、計算力をつける。簡単なミスをなくし、正確に早く解けるようにする。 ○グラフを書くなどの作業を授業の時間の中で一人一人ができていかどうか確認する。また、テストを行い、簡単なグラフに関しては全員が書けるような指導の工夫をする。 ○ヒストグラムなど、資料の活用では実生活に基づき、生徒が興味を持てるような授業の工夫をする。
理科	○炭素を含み、加熱すると二酸化炭素を生じる物質を有機物と言うことがわかること ○火山岩のつくりを「斑状組織」といえること ○発生した気体が酸素であることを確かめる方法がわかること。	○観察・実験を通して得られた結果から考察を導き、理解を定着する指導を充実する。 ・個々の生徒が、導き出した考察を、1つ1つ丁寧に確認し、理解を深めさせるようにする。 ・有機物の加熱実験により後に炭素が残ることを確認させる ○気体の発生と性質の実験を出来るだけ多くの気体で行い、体験させる。 ○岩石のつくりは、覚えにくいので機会あるごとに何回も復習させる。
英語	○英文の要点を正確に聞き取る力が安定していない。 ○初歩的な単語を書くことに課題がある。	○授業内で教師の英語を集中して聴く環境を作り、リスニング力を培う。加えて教科書本文の音読を中心に、まとまりのある英語を多く発話し、教師との英語でのやりとりを通して、話す力と聴く力を統合的に学習する場面を多く設ける。 ○毎週、自主学習及び復習のためのノート提出を義務づけることで教科書の重要文や基本的な語彙の定着をはかる。また、ノートの使い方の学習方法の指導助言を適宜行い、表現の際に語彙を適切に活用できるようにさせる。

第八中学校 行第3学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策
国語	○文章の内容をとらえて、それを具体的な事例にあてはめる問題。 ○既習の漢字の読み取り問題。	○説明的文章については、まず要点をとらえ、内容を把握しながら読むという習慣を身につけさせる。さらにその内容を自分の体験を含めて、具体的な事例にあてはめられるような発展的な学習を行う。 ○既習の漢字については、定期的に漢字コンテストを行うなど、自ら意欲的に繰り返し練習する習慣を身につけさせる。
社会	○ヨーロッパや北アメリカなど、世界の諸地域に関する学習 ○中部地方など日本の諸地域に関する学習 ○江戸時代の幕府の大名統制や産業についての学習。	○世界の各地域に関する学習について夏休みに補習を行い、復習する。そこでもう一度世界地図の全体が把握できているかを確認し、略図等の作成を通じて学習を深める。また、世界の各地域の特色について理解の度合いを検証し復習する。 ○日本の工業と農業の全体的な復習をすることによって各地域を比較しそれぞれの特徴を理解させる。小テストで理解を検証 ○年表を使って学習できるよう課題を用意する。
数学	○基礎的内容の習得に時間のかかる生徒が比較的に多い。 ○基礎的内容は習得されている生徒でもより細かい内容に対する関心が少ない。	○学習に取り組むように、授業の初めに本日の学習内容をはっきり伝える。 ○少人数で授業を行うことにより、発問に対する解答の機会を多くし、考える時間を多くとらせるようにする。 ○解答求めることばかりを重視せずに、途中の過程やそのために必要となる数学的な特徴を捉える機会を与え、数学的な考え方に少しでも多く触れさせるようにする。
理科	○細胞のまわりをみだし、血液と細胞の間で物質の受け渡しをする液を組織液といえること ○ガスバーナーの火を消す手順がわかること。 ○気象情報の記録から寒冷前線が通過した時刻を推定できること。	○授業で学習したことを常に日常生活と結びつけ、指導していく。特に、気象の学習は、1年間を通じてタイムリーに機会あるごとに投げかけ定着させるようにする。 ○「組織液」という言葉やガスバーナーの使い方など、頻繁に授業のなかで出てこない内容は、定期的に思い出せるように働きかける。
英語	○対話文を聞き応答すること。 ○語形・語法の知識・理解 ○英文の読み取り	○聞き取りの活動を繰り返し行い、対話文の内容をきちんと理解できるよう指導する。また、語彙の定着、文構造の理解を深め正確な応答の仕方を身につけさせる。 ○語彙指導のときに品詞やコロケーションを意識させ指導を行い、語形・語法の知識を身につけさせ単語や熟語を適切に使えるようにする。 ○英語の文章の構造や文構造を意識し繰り返し読む活動を行い、英文のまま理解する練習をさせ指導していく。また、スキミングやスキミングをして繰り返し読む練習を行い、文章の概要や必要な情報を読み取ることができるよう指導する。正しく英語を理解するための語彙力、文法の力も指導していく。